



樹脂押出製品

- 本社所在地：三重県松阪市曲町638-1
- 事業概要：チューブ・ホース製品の開発・製造・加工
- 常時使用する従業員：252名  
(2025年5月期)
- 現在の売上高：50億円  
(2025年5月期)
- 法人番号：1190001010144
- Web：https://www.okumura.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
奥村 公人

**人と人との絆** お互いを尊重し、支え合いながら成長していく。  
一人一人が主役となり、未来を切り拓く。「オクムラ」らしさで100年企業を目指します。

当社はこれまで、自動車分野を中心に樹脂ホース製品の製造を通じて、日本のものづくり産業を支えてまいりました。特に自動車用樹脂ホースにおいては、品質・技術力・安定供給を強みにお客様から信頼をいただき、事業基盤を築いてきました。今後はこの強みをさらに発展させ、自動車用樹脂ホースのさらなる受注拡大を図るとともに、これまで培ってきた成形技術や製造ノウハウを活かし、産業用途分野への事業拡大を進めていきます。産業機械や各種設備など幅広い分野で当社製品の活用を広げ、新たな市場の開拓を進めてまいります。さらに、産業用途向けの自社ブランドチューブの生産・販売を開始し、自社製品としての価値を高めながら販路拡大を進めることで、より安定した事業基盤の構築を目指します。これらの取り組みにより、受託製造と自社製品の両面から事業を成長させ、売上高100億円の達成を通じて、社員の成長と働きがいの向上、地域社会への貢献を実現するとともに、日本の製造業を支える企業として持続的な発展を目指してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

**実現目標**  
2035年の売上高100億円達成に向け、2025年の売上高50億円を起点とし、年平均8%の成長を目指します。



## 課題

- ・事業拡大および生産能力強化のため、新たな工場を新設し、生産体制を強化する必要がある
- ・自動車用樹脂ホースにおける受注拡大のため、品質・コスト・供給体制のさらなる強化が必要
- ・自動車産業向け受託製造の比率が高く、需要変動や価格競争の影響を受けやすい事業構造となっている
- ・自動車分野に加え、産業機械・設備分野など新たな市場への事業拡大が必要
- ・自社ブランド製品の開発・生産・販売体制の構築と販路開拓が課題
- ・DXの活用による生産性向上、品質向上、製造プロセスの高度化が必要

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・今後の受注拡大および新規事業展開に対応するため、新たな工場を新設し、生産能力および供給体制を強化する
- ・自動車用樹脂ホース分野における品質・技術力・供給力の強化により既存顧客からの受注拡大を図る
- ・既存技術を応用し、産業用途向け樹脂チューブ・ホース製品の受注を拡大
- ・産業用途向け自社ブランドチューブの生産・販売を開始し、自社製品による事業基盤を構築
- ・販路拡大に向け、既存顧客に加え新規顧客の開拓および新市場への展開を推進
- ・DXを活用した生産管理・品質管理の高度化により生産性向上とコスト競争力を強化
- ・設計・開発・製造の内製化を進め、製品開発力と技術蓄積を強化

### 実施体制

- ・経営層のリーダーシップのもと、全社一体となって成長戦略を推進
- ・生産能力拡大および事業成長を実現するため、新工場の建設および生産拠点の整備を進め、生産体制の強化を図る
- ・製造部門において設備投資や生産体制の強化を進め、自動車分野および産業分野の受注拡大に対応
- ・技術部門において新製品開発や自社ブランド製品の設計・開発を推進
- ・営業部門において既存顧客との関係強化とともに、新規顧客・新市場の開拓を推進
- ・DX推進に向けたデジタル化・データ活用の体制を整備し、生産性向上を図る
- ・必要に応じて外部企業や研究機関との連携を進め、技術開発や新市場展開を推進

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです